テキスト

（表紙）発言の手帳　組合婦人のために

労働省婦人少年局　パンフレットNo.4

（1ページ）

**なぜ発言することが大切なのでしよう**

もし組合会議でみながだまつているとしたらどうでしよう。顔の表情や身ぶりだけでは、おたがいが何を考えているのか、まだ何をのぞんでいるのかわかりあうことができません。いきおい組合の大切な方針でさえみなの考えによつてきめていくことができなくなります。組合会議はみなの考えによつてことがらをきめるために、もたれるものです。ですから少数のひとの強い意見によつて組合の決議が左右されないためにも、または会議にさきだつての話しあいで決められることがないためにも、みなが自分の考えをのべ合うことがぜひ必要です。

（2ページ）

発言こそは組合の問題を民主的にとりきめるための第一の門です。

発言はあなたの義務であり、特権です。

婦人組合員のみなさん、まず発言しましよう。

（3ページ）

**何となく気おくれがして発言しにくいひとのために**

勇気が大切

最初の勇気が大切です。一度発言をしてみると案外たやすいことがおわかりです。

（4ページ）

**勇気はどうしたらやしなわれるでしよう？**

まえもつて次の会議であつかうことがらを知つておきましよう。

議題については研究しておきましよう。

（5ページ）

あなたがもつとも関心をもつている問題をとりあげ、それについて充分研究しなさい。

（6ページ）

職場や自宅で、また組合事務所や図書館にもいつて、新聞、雑誌、パンフレツトなどから参考となる資料をあつめます。

ラジオの討論や講演もおききなさい。

あつめた資料の切抜帳をつくります。また資料の要点をかきとめておくのもよいでしよう。

（7ページ）

発言したいと思うことのざつとしたほねぐみをかいておきなさい。このようにしてもつとも大切だと思う事実だけを話します。何でももりこんで話すとかえつて全体の印象がぼやけます。

（8ページ）

討論したいと思うことがらについて読んだり聞きとつたりしておいたことをよく考えてごらんなさい。

（9ページ）

**練習が大切です**

あなたの考えをのべるために、あらゆる機会をとらえなさい。

先づ少人数のあつまりで話しあつてからだんだん人数の多いあつまりで話してみましよう。

（10ページ）

婦人たちのあつまりで発言してごらんなさい。

練習をするのによい機会です。

（11ページ）

婦人のあつまりで発言になれたひとは婦人も男子もいるあつまりでしてみます。

（12ページ）

**発言することが会議に参加することです！**

ひとの発言をよくおききなさい。よくきくことによつて問題のありどころがはつきりします。またひとの発言を注意してきくことは自分の発言のためのよい勉強になります。

（13ページ）

たずねたいと思うことや意見をのべたいと思うことをノートにとつておきましよう。

（14ページ）

あなたの考えをのべたり手にいれた情報を提供したりして討論に貢献しなさい。

あなたのお考えがよくてグルウプのひとが決議するのに役立つかもしれません。

（15ページ）

自信をもつて落ちつきなさい。さもないと、いいたいことを忘れたり、またいわなくてもよいことをいつたりする結果になります。

（16ページ）

簡単にしかも誠意をこめてはなしなさい。そうすれば、ひとはあなたのいうことをおもんじるでしよう。

（17ページ）

発言するのは自分の考えをひとにわかつてもらうことが目的ですからできるだけはつきりいうようにします。考えはすじみちをたててのべましよう。必要におうじてノートを参考になさい。

（18ページ）

いいたいことが沢山あつてもおもなことがらだけをえらび、議題からそれないようにします。

（19ページ）

話しおわつたらすわりましよう。あまりクドクドはなしすぎると、ひとはうんざりして、かえつて関心を失つてしまいます。

（20ページ）

婦人組合員のみなさん、すすんで発言いたしましよう。あなたが発言すれば、男も女も平等に代表され、組合がつよくなり、組合員全体の働く條件がたかまるのです。

（21ページ）

よい発言者となるために

１．議題をお知りなさい

２．まえもつて準備なさい

３．あなたの話すことに確信をもちなさい

4．あなたの考えを簡単めいりようにあらわしなさい

５．発言の練習をするためのあらゆる機会をとらえなさい

６．組合会議に出席して組合員としての義務をはたしなさい

昭和24年5月25日　印刷

昭和24年6月 1日　発行

編集兼発行人　東京都千代田区代官町1番地　労働省婦人少年局

印刷人　東京都中央区入船町２ノ３　永井直保

印刷所　東京都中央区入船町２ノ３　永井印刷工業株式会社